

国土審議会 計画部会  
自立地域社会専門委員会  
提出資料

松田宏人  
日本政策投資銀行

平成17年11月

# 地球規模で地域が選別される時代

## 人の例

スキューバダイビングとリラクゼーション両方充実させたい(東南アジア・カリブ海にするか沖縄にするか)

観光集客は地球規模の競争

## 企業の例

アジア直行便を持つ空港から車ですぐの工場用地を探している(ソウル・台北空港近くにするか、千歳空港近くの苫東基地にするか)

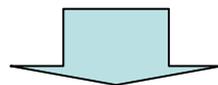
企業誘致は地球規模の競争

## 投資家(お金)の例

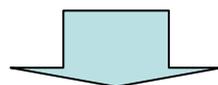
将来的に価値が保全される可能性の高い地域の歴史的不動産に投資したい(ローマにするか金沢にするか)

投資誘引は地球規模の競争

「地球規模で地域が選別される時代」とは、「生き残れない厳しい時代」ではない。



「知恵と努力で地球全体を市場にできる時代」と前向きにとらえよう。



そのためには、何らかの意味でアピールできる競争力が不可欠。

## 競争力の3要素 1 個性の発揮

地球規模で個性を発揮している事例

インバウンド観光への取り組み・オーストラリア観光客誘致（北海道倶知安町・ニセコ町）

フィンランドとの提携による健康福祉産業クラスター形成（仙台市）

金属洋食器のブランド化（燕市）

欧州建築家に注目される神田のまちづくり（東京都千代田区）

世界直結のベンチャーを育てる地域ビジネスモデル（京都市）

国際アニメーションフェスティバル（広島市）

阿波和紙の伝統技術を引き継いだ世界唯一の特殊紙製造（阿南市）

大学発の地域国際化・立命館アジア太平洋大学の試み（別府市）

トップクラスの評価を獲得したワイナリー（宮崎県都農町）

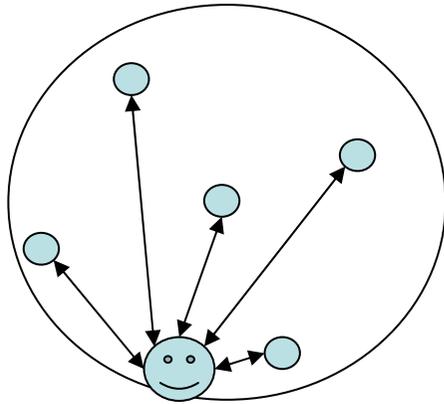
## 競争力の3要素 2 経済効率性

### 一定の集積の確保、広域連携、既存ストックの有効活用

「人」や「企業」が地域を選ぶ場合に、利便性・安心安全・ゆとりの確保のために、期待する機能(施設) (公共施設、医療・福祉、教育、商業、業務、芸術・文化施設など)が集積していないと、選ばれにくい。

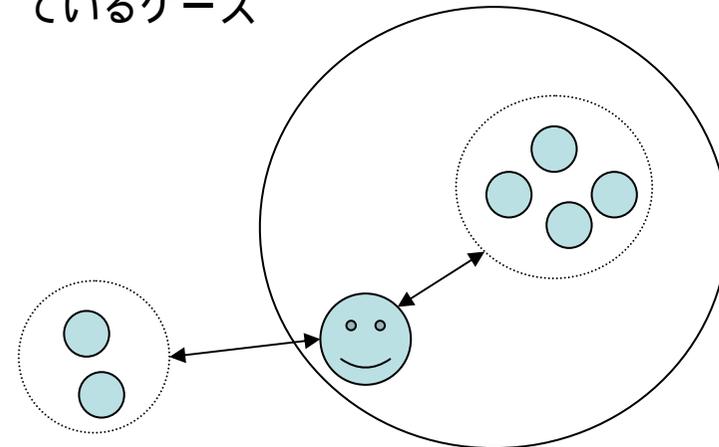
必ずしも、大きくなればなるほど良いということではない。鍵になる拠点機能があれば良い。ただし、地域内で分散すると全体の力が低下。集約 / 連携は必要。

地域内で分散しているケース



地域内に分散していると非効率である。結局、この地域が選ばれなくなる可能性が高まってしまふ。

地域内で集約または地域間で連携しているケース



特定の場所に集積させる、あるいは近隣の地域と広域連携することで効率的になる。

## 競争力の3要素 3 地域の信頼性の実現

= 企業努力

- 地域課題への真剣な取り組み
  - 地場産業や商店街の疲弊、治安の悪化や災害対応など地域ごとの個別の課題に対してどれほど真剣に取り組んでいるか

- 地域の資産の保全と発展
  - 自然、歴史、文化、景観など地域の資産を大切に保全し将来の世代へ引き継ごうとしているか
    - 例：金沢、倉敷

= 企業ブランド



金沢市提供

- 公正さ、安全・安心の確保
  - 社会的な規範を遵守しているか、地場産品や観光資源などを安心して消費できるようにしているか
    - 例：温泉表示問題、焼酎・黒酢等食品のトレーサビリティによる由来・履歴の開示(鹿児島)

= 企業統治

# 国の関与、役割について

前提 1 : 急速な高齢化・少子化による経済活動の水準低下

地域社会・コミュニティの維持、さらには国土保全そのものが困難になる可能性

前提 2 : 国、地方ともに官の財政制約の深刻化

官の「効率化・重点化」への取組、多様な主体による役割分担

(1) 財政措置が必要な直接的・量的な支援を縮減

(2) 制度設計及びモニタリング機能へのシフト

【国の関与、役割を考える視点】「セーフティネット」と「スプリングボード」(次頁参照)

国が責任をもって取り組むべき「**セーフティネット**」

環境、国土保全、安全保障等は国が主体 (ただし、効率性確保のための官民連携を可能な範囲で検討)

国が民間・地域の自助努力を支援する「**スプリングボード**」

規制緩和や税制による市場創造、全国共通モデル・ノウハウの提供、情報発信支援

[例] PFI・PPP、市場化テスト・構造改革特区・地域再生計画等

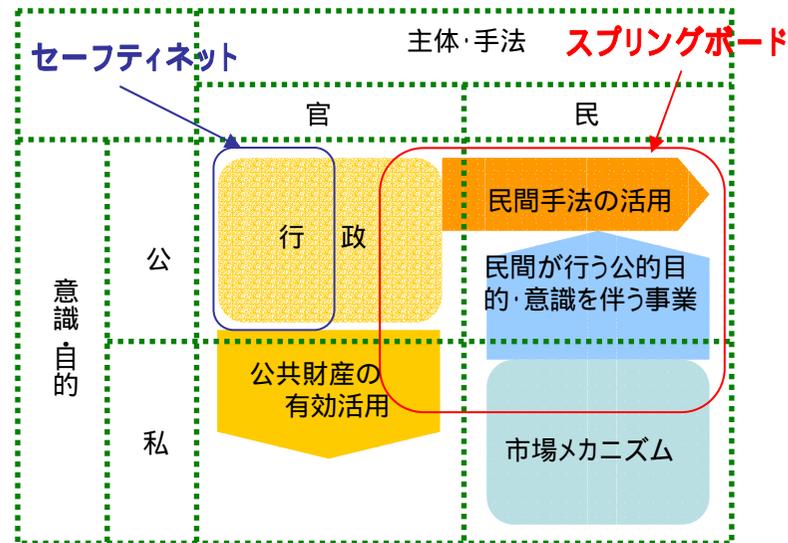
# 1. 社会的共通資本の考え方

国民の基本的権利を充足させて持続的発展を支えるために必要不可欠な財・サービスを生み出す資本概念



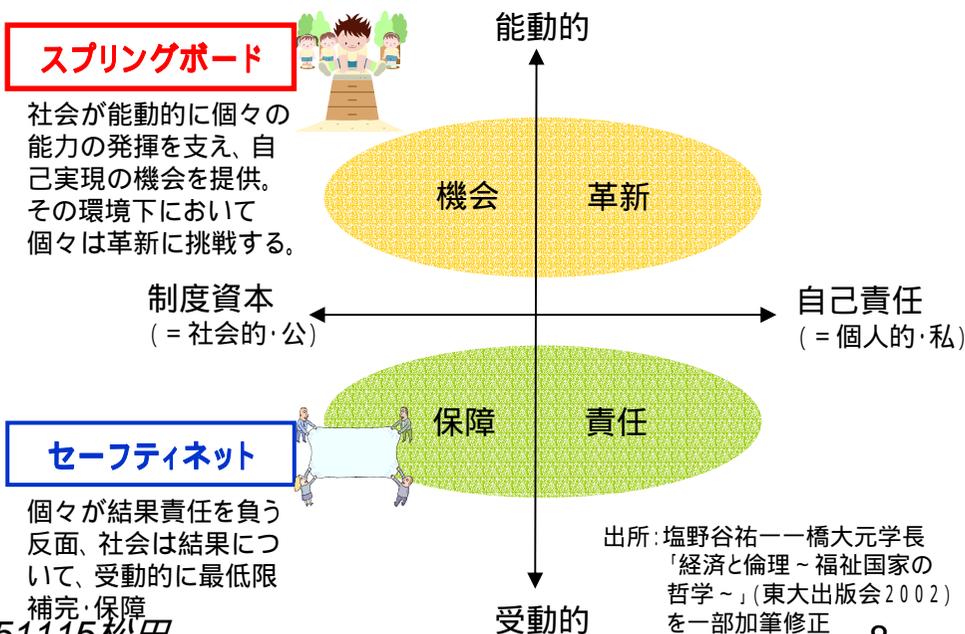
(\*1) 制度資本の一部にセーフティネット的な要素とスプリングボード的な要素がある。

# 【スプリングボードとセーフティネット：官民公私マトリクス】



注)「公」は意識・目的にかかるものであり、主体としての「官」と異なる。

# 2. 制度資本のなかにおけるセーフティネットとスプリングボード



# 【スプリングボードとセーフティネットの比較】

	セーフティネット	スプリングボード
位置付け	基本的には「公」「官」部分	「公」「民」部分中心
基本的考え方	チャレンジするかどうかは個人の責任。結果の受動的・最低限の保障。	能動的に能力の発揮を支援。自己実現の機会提供。
例	預金保険制度	ベンチャー支援制度
留意点	「公」「官」部分においては「モラルハザード」、「モラルジレンマ」(*2)の問題	「公」「民」部分を有効に統合・機能させるための作り込みが重要

(\*2) セーフティネットに便乗して経済的利得を得る者がでる問題等を「モラルハザード」と呼ぶのに対し、保障を受ける者が恥辱を受け、必要以上に自尊心を傷つけられる問題を「モラルジレンマ」という(G.W.F.ヘーゲル)。

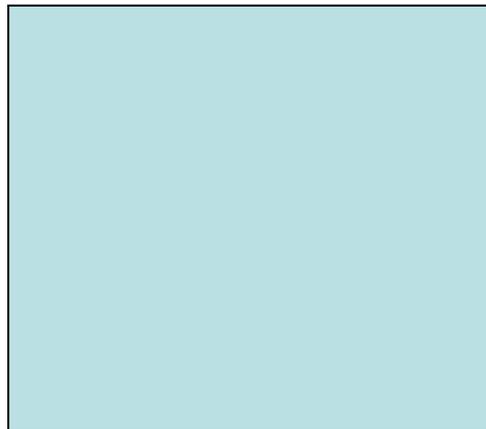
# 多様な主体による役割分担

行政だけでなく、民間・NPOなどが、それぞれ得意な分野を分担することで、より効果的・効率的に社会的サービス等を提供することができる。

## 従来型の発想

公共事業であれ、民間事業であれ、特定の主体がすべての事業リスクを負って事業を進めた。

### 事業リスク

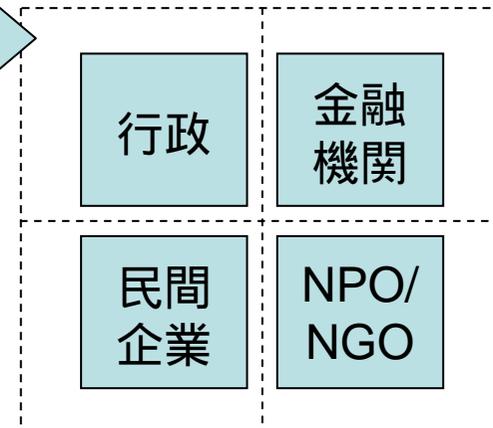


- ・財政制約の深刻化
- ・民間活力活用の要請
- ・企業収益の低迷
- ・会社制度・会計制度の厳格化
- ・取り組むべき課題の多様化
- ・NPO・NGOなど新たな担い手の登場

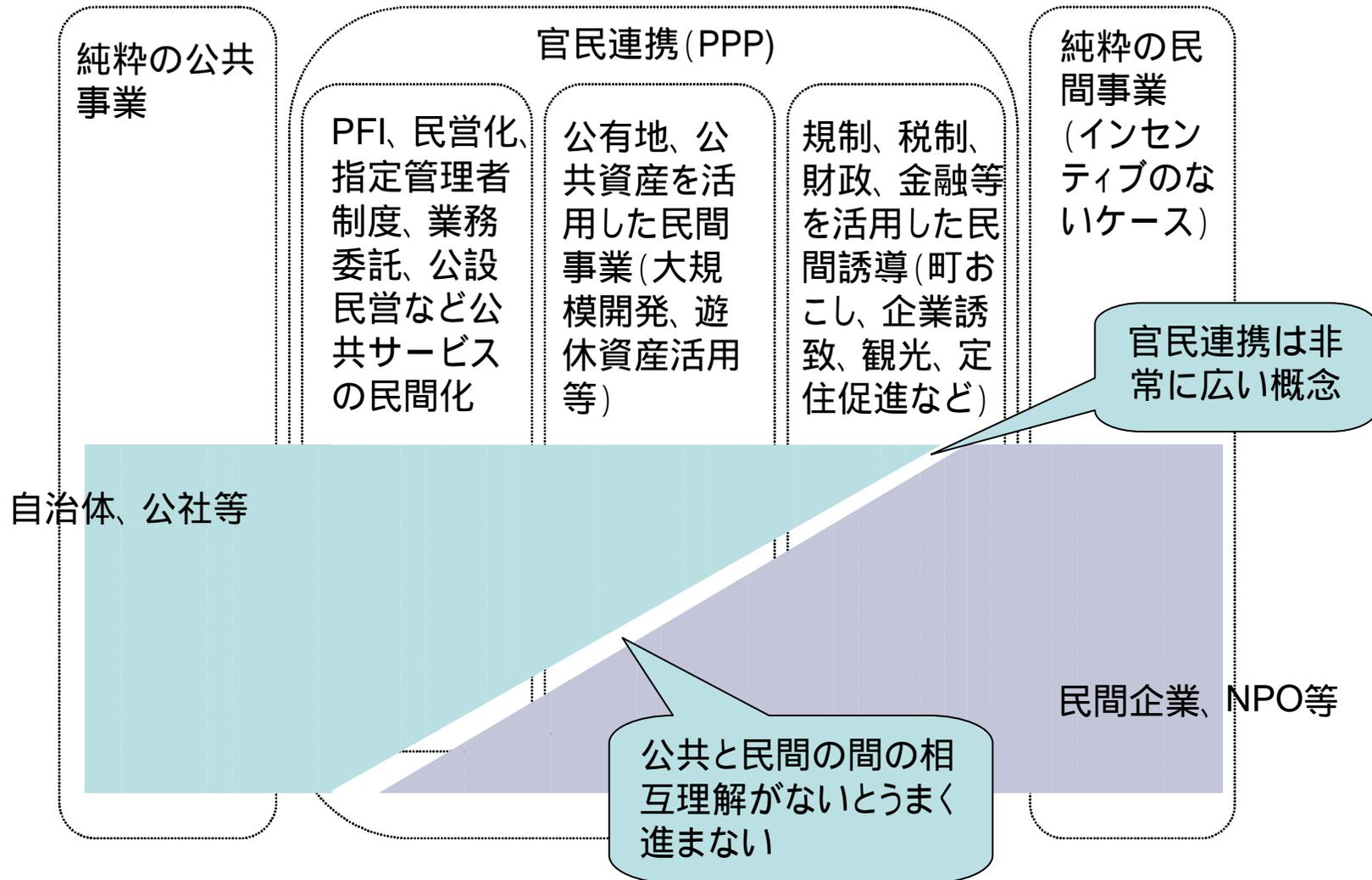
## 現在求められている発想

それぞれの主体の得意な役割を分担することで、全体の事業リスクを小さくするとともに、リスク発生時(前)の機敏な対応、事業効果の向上にも寄与。

### リスク総体も縮小



# 広がる官民連携領域

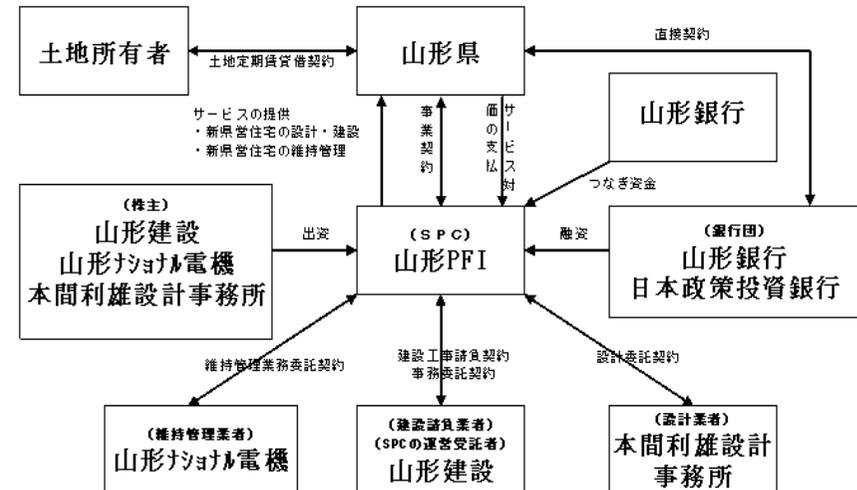


【市川七中行徳ふれあい施設PFI】



- 市立中学校校舎・給食室・公会堂・保育所・ケアハウス等の一体的施設整備。
- 市民のニーズの高い基礎的行政サービスを提供する多機能施設の整備、維持・管理・運営を民間事業者6者(設計、建設、不動産管理等の会社と社会福祉法人)が適切に役割分担。
- PFI方式の採用により、行政サービスの効率的提供と自治体の財政負担の軽減を実現。地元金融機関も共同主幹事として参加。

【山形県営住宅移転建替PFI】



- 地元民間企業のみから構成されるコンソーシアムが、PFI方式による施設の設計・監理、建設・運営、維持管理を行う、山形県下で初めてのPFI事業。
- 老朽化した県営住宅を中心市街地へ移転・新設するもので、PFIによる効率的・効果的な事業遂行と中心市街地の活性化が期待。
- 地元金融機関が共同主幹事とエージェント業務を担当。

# 多様な主体の役割分担 - 民間化・民営化

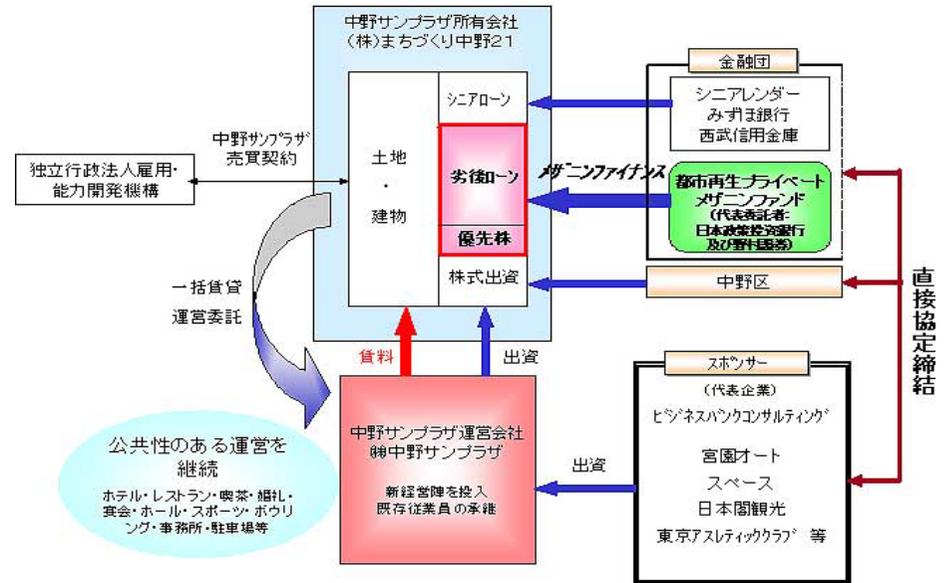
## 【公営事業の民間化】



- 民間の資金、経営能力及び技術能力を活用し地方公営事業を民間化。
- 公営ガス、バス事業、公営病院等の民間化で、地域の交通利便性向上やエネルギー供給の安定・確保、地域医療サービスの充実・安定化等を実現。
- 公営病院のケースでは、経営が悪化し町財政を圧迫してきた状態から、民間移管後の経営改善策実施により黒字転換を達成。

## 【中野サンプラザ民営化】

### 中野サンプラザ取得・運営事業の仕組み

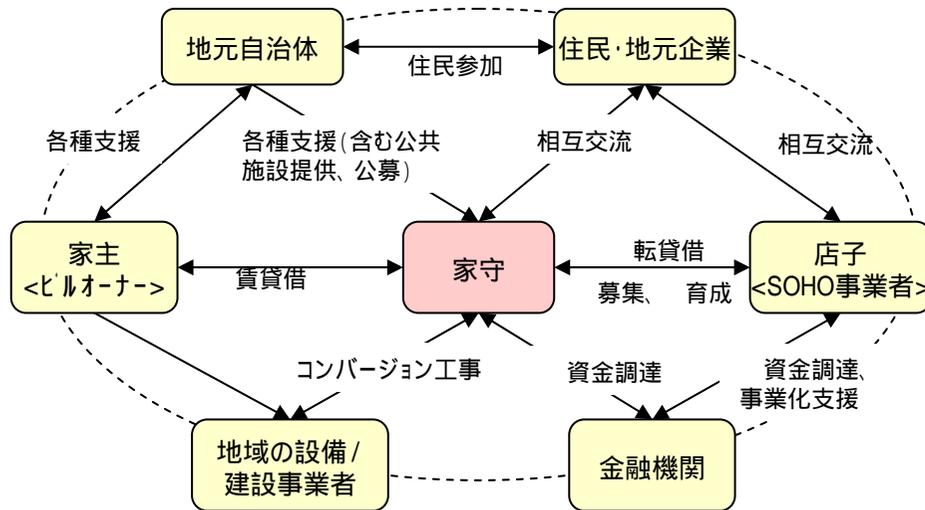


- 雇用・能力開発機構が保有していた中野サンプラザの民営化。地元の西武信金、みずほ銀行中野支店が参加し融資団が組成。
- 公的施設を、自治体が出資するSPCが取得、運営は完全民営化。公共性と経済効率性の併存を図るため、事業の安定性を高めるためのストラクチャーを構築。
- 官から民へ、国から地方へ、を実現するPPP事業のモデルケースの一つ。

# 多様な主体の役割分担 - SOHOコンバージョン家守事業

## 家守(やもり)とは？

家守とは、行政、地域住民と連携して、空きビル、空き室(含む遊休公共施設)を、従来と異なる用途に転換し、その地域に新たな経済の担い手を誘致・育成する民間事業者。



### 世田谷ものづくり学校(旧区立池尻中学校)・・・池尻 アイデアールプロジェクト

統合され廃校となった中学校廃校舎を民間事業者のノウハウを活用し、**ものづくりの拠点**として再生する事業。デザイン会社イデーが家守。



20051115松田

### REN-BASE UK01(大蓄ビル)・・・神田 アフタヌーンソサエティ

家守提言に賛同した民間主導プロジェクト。空室化した中小オフィスビルの1フロアを民間事業者(青山在住の都市計画家)が賃借し、**建築・デザイン関係**の個人事業者の集積を図るべくSOHO用途にコンバージョンした。



新たな入居者を核に人が集まり



街もにぎわいだす

### 千代田プラットフォームスクエア(旧千代田区中小企業センタービル)・・・竹橋 プラットフォームサービス

稼働率の低下した公有資産を公募で選定された民間事業者(全国デジタルSOHO事業者協同組合有志)がSOHO拠点として一部整備し、域内の中小ビル連携を実現するための「家守」を育成する事業。**NPO支援団体、ベンチャー企業**等が入居。

老朽施設をコンバージョン



起業家が集うオープンな空間設計

# リレーションシップバンキングの概要

「リレーションシップバンキング」とは...

**長期継続する関係の中から、借り手企業の経営者の資質や事業の将来性等についての情報を得て、融資を実行するビジネスモデル**

「トランザクションバンキング」個々の取引ごとに採算性を重視する銀行経営手法であり、貸出しに当たっては財務諸表や客観的に算出されるクレジットスコアといった定量的な指標を重視する。リレーションシップバンキングの反対概念。

## リレーションシップバンキングとトランザクションバンキングの比較

	リレーションシップバンキング	トランザクションバンキング
重視するリスク要因	マネージメントリスク(定性的)	ビジネスリスク(定量的)
メリット	・定量情報では図りきれない無形の競争力を持つ顧客層を開拓 ・高収益性、収益の長期安定性	・低コスト化による価格競争力 ・信用リスク管理の高度化
コスト(主な費用)	高コスト(営業担当者人件費)	低コスト(機械化の初期投資)
収益期間	長期安定的	短期的、市場環境等の影響大
取引先との関係	単独取引(独占的)	複数行取引(競争的)
適性のある金融機関	小規模かつ地域限定的金融機関	大規模(地域横断的)金融機関
問題点	・「ホールドアップ」問題 *1 ・「ソフトバジェット」問題 *2 ・「ソフト情報」の非伝達性 *3	・潜在的収益機会の喪失 ・商品の画一化による競争激化と価格低下圧力

\*1 一方が他方に依存する取引関係において、依存される側の当事者が優越的地位を利用して自己に有利な条件を強要すること。

\*2 業績不振に陥った企業との取引において、金融機関が法的整理等による損失の表面化を恐れ、回収に重大な疑義があるにもかかわらず融資を継続すること。

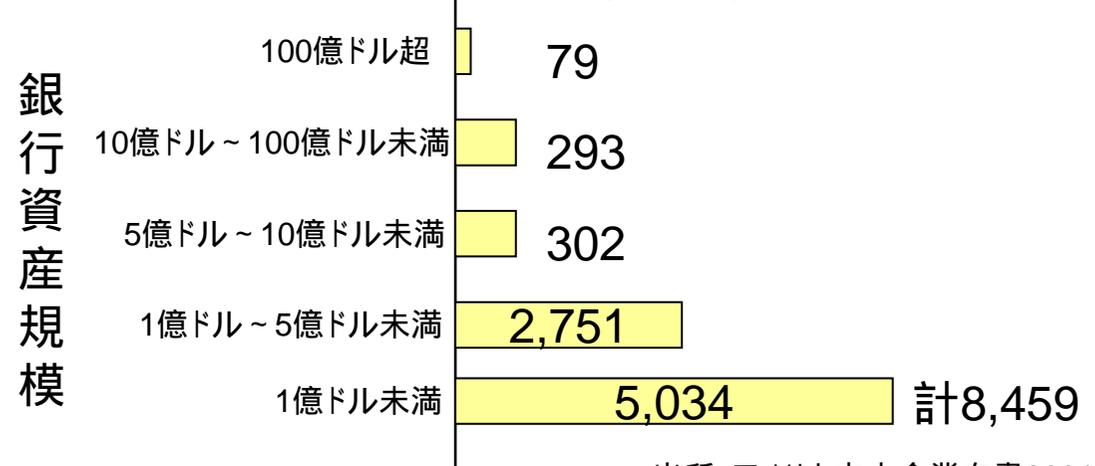
\*3 ソフト情報には、取引先の経営情報のほか、地域特性、取引先やコミュニティにおける評判などが含まれるため、定量情報のように伝達・還元が困難であること。

# 対比: 日本と米国の地域金融

## - 米国の地域金融 -

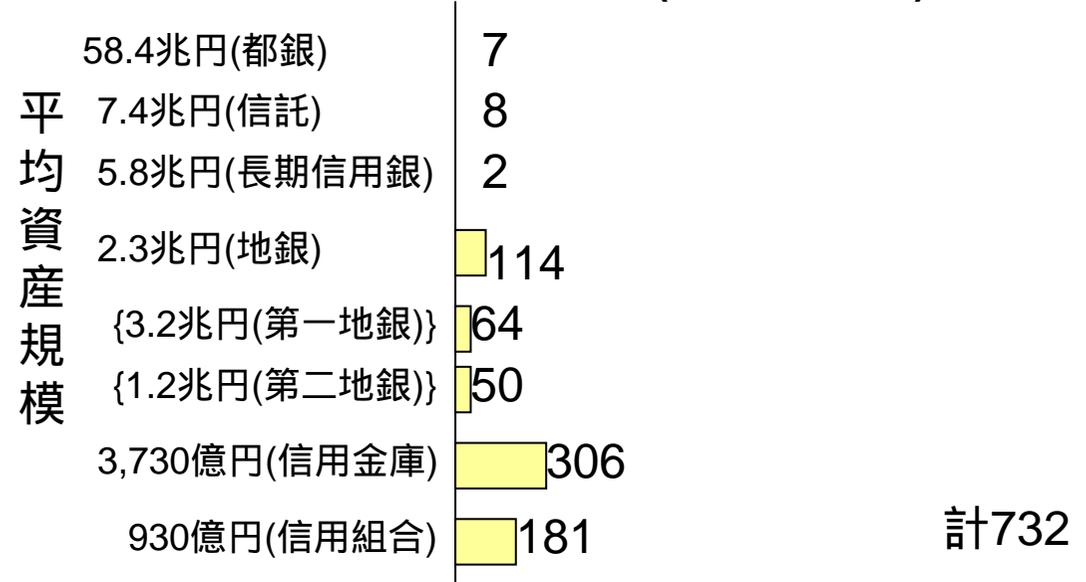
- **間接金融が中心**
  - ・ 国レベルの企業は直接金融、州レベル以下は間接金融
- **小規模な地域金融機関が多数存在 (右図)**
  - ・ 地域銀行 (極めて小規模)
  - ・ ノンバンク
  - ・ CDFI (公益目的の新興勢力)
- **地域密着型融資の普及**
  - ・ 地域密着の金融機関が豊富な地域情報を元に審査
  - ・ 担保は、簿価ではなく、収益還元法で査定した事業価格で評価 建物担保の普及
  - ・ 経営指導によりデフォルトリスクを軽減

米国銀行資産規模別銀行数(2000年)



出所: アメリカ中小企業白書2001

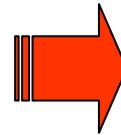
日本の業態別平均資産規模(2004年3月末)



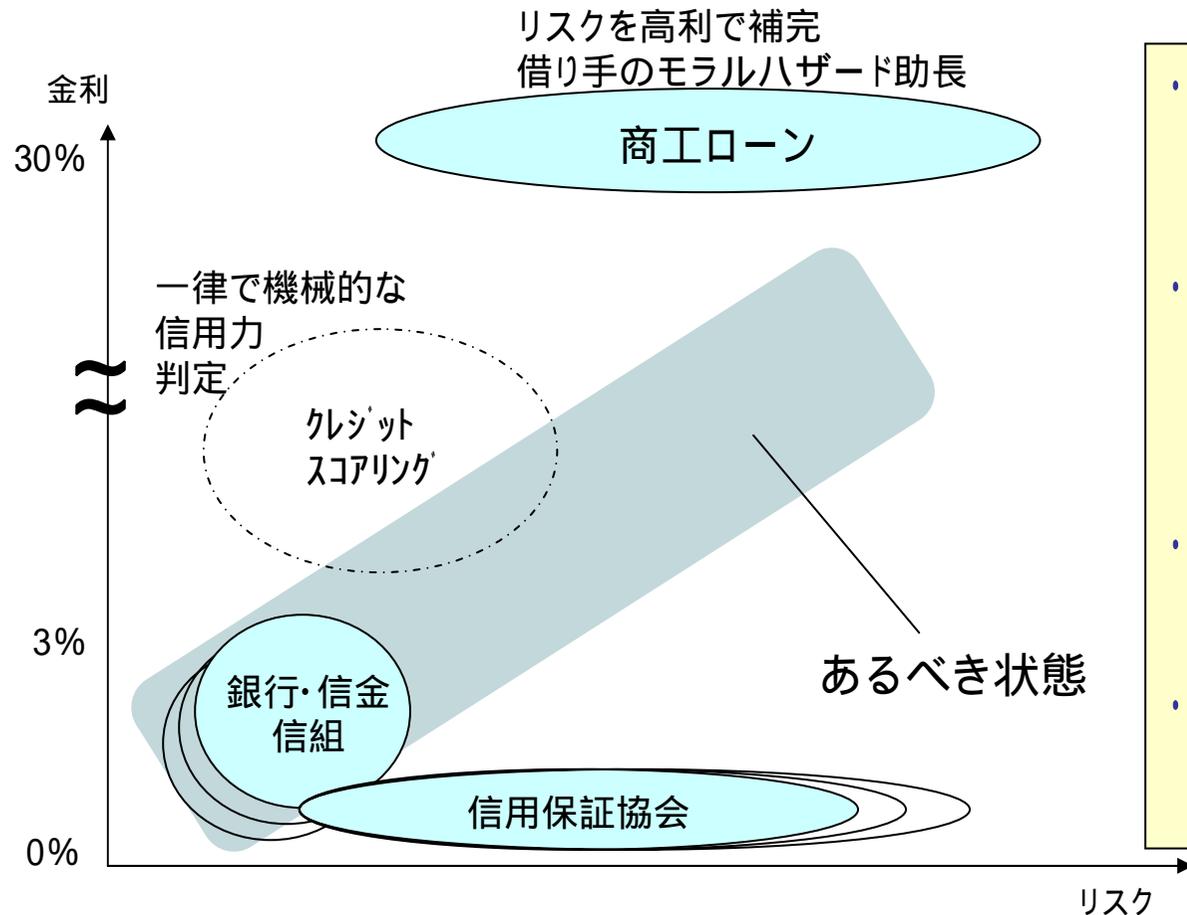
出所: 全銀協HP, 信金中金HP, 全国信用組合中央協会HP

# リスクとリターンの関係

地方圏における低い預貸率  
(資金は潤沢)

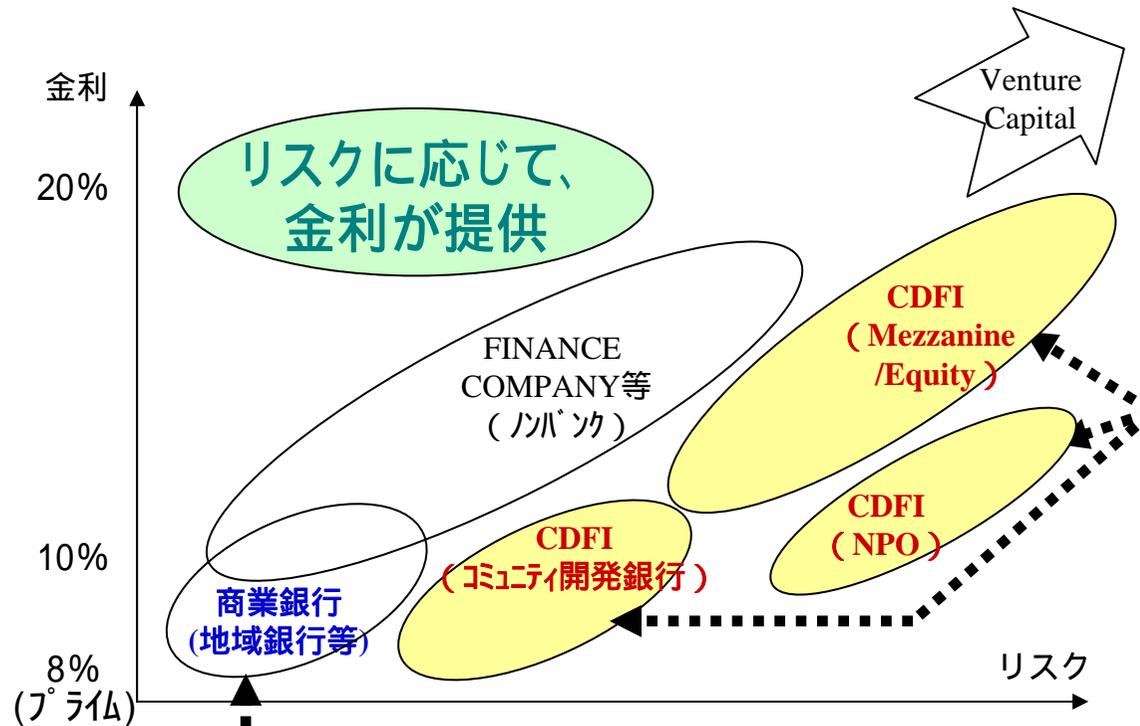


不足しているのはリスク負担？  
(資金は国債等安全資産へ)



- ・ 金融市場が不完全なために、極めて安いか、法外に高いか、どちらかの金利領域しかない
- ・ 金利が低すぎるため、普通の金融機関はリスクがとれない  
かえって地域企業にお金  
が流れなくなっている
- ・ そのため、地域企業は企業間  
信用に依存する割合が高い
- ・ 金融機関による企業の経営技  
術向上に向けた取り組みは行  
われにくい

# 米国の地域金融市場



## コミュニティ開発金融機関 (CDFIs)

- Community Development Financial Institutionsの略
- コミュニティ振興という公益目的を持つ 銀行/NPO
- 資金規模数億円 ~ / 400機関超
- 25年前に第1号が登場、過去10年に全米で急速に成長
- 経営技術指導 (Technical Assistance) を実施  
費用は金利/指導料/公費補助 で賄っている

## 地域銀行 (Community Banks)

- 多くは日本の信用組合よりも小規模で、特定地域に密着
- 独立自営の経営 / 当局は、税制、規制・監督面で優遇
- 経営技術指導 (Technical Assistance) を実施  
費用は金利/指導料/公費補助で賄っている

# 市場の失敗を生む信用情報の不足(情報の非対称性)

様々な要因から資金需要が低迷しているのは事実だが..

